

令和6年度 事務事業評価シート（１）

[令和5年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	予防接種事業			事業番号	011-228
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	感染症対策課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—		施策	—		
			無	取組の方向性	—					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—		ターゲット	—		
			無	取組	—					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画									
3	事業開始年度			昭和 23 年度		点検対象年度		令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			予防接種法						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		予防接種法施行令に定める対象者及び市独自助成の対象者（延べ約650,000人）			対象数	単位
						650,000	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		予防接種により、国民全体の免疫水準を維持し、伝染の恐れのある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進に寄与する。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)		○定期予防接種（予防接種法第5条） ・A類疾病にかかる予防接種…B C G、四種混合、三種混合、二種混合、ポリオ、麻しん風しん混合、麻しん、風しん、日本脳炎、ヒブ、小児の肺炎球菌、子宮頸がん、水痘、B型肝炎、ロタの予防接種を、それぞれ対象年齢の者に対し、無料で実施する。 ・B類疾病にかかる予防接種…インフルエンザの予防接種を65歳以上の者及び内部疾患の60～64歳の者に対し、一部自己負担（低所得者は無料）で実施する。また、肺炎球菌の予防接種を、年度内に65,70,75,80,85,90,95,100歳となる過去に接種歴の無い者に対し、接種費用の一部自己負担（低所得者は無料）により実施する（令和6年度以降の対象者は、65歳の過去に接種歴の無い者のみ）。 ○新型コロナウイルス感染症にかかる予防接種 特例臨時接種として、国の指示に基づき接種に必要な体制を整備し、生後6か月以上の者に対して無料で接種を実施する（令和6年度以降は、B類疾病にかかる定期予防接種として、65歳以上の者及び内部疾患の60～64歳の者に対し接種を実施する）。				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載		○任意予防接種の助成 肺炎球菌の予防接種を、65歳以上となる者（上記定期接種対象者は除く）に対し、接種費用の一部自己負担（低所得者は無料）により実施する。				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）		一般社団法人 堺市医師会ほか				
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
麻しん集団発生件数	件	目標値	0	0	0	0
		実績値	0	0		
		達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由	国において、麻しんの感染力及び重篤性並びに流行した場合に社会に与える影響等を踏まえて、「麻しんに関する特定感染症予防指針」を定め、排除状態の維持を目標としているため。					
目標値の設定根拠・算出方法	国の「麻しんに関する特定感染症予防指針」で、排除状態の維持を定めているため。					

活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	
麻しん（麻しん風しん混合）予防接種の接種率	%	目標値	95	95	95	
		実績値	91	94		
		達成率	96%	99%		
当該指標を選定した理由	国の「麻しんに関する特定感染症予防指針」で、感染力が非常に強い麻しんの発生予防の最も有効な対策を予防接種による免疫獲得と定めているため。					
目標値の設定根拠・算出方法	国の「麻しんに関する特定感染症予防指針」で、接種率目標（95%以上）が明確化されているため。					

令和6年度 事務事業評価シート（２）

事務事業名		予防接種事業			事業番号		011-228	
-------	--	--------	--	--	------	--	---------	--

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
		決算		決算		当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	9,826,718		7,453,583		4,724,156	4,151,488	3,462,544
	国支出金	7,894,584		5,151,737		2,593,738	1,962,483	355,101
	府支出金	3,447		164,458		2,397	218	1,257
	市債	0		0		0	0	0
	その他（手数料、返納金等）	18,928		3,541		5,000	17,670	200
	受益者負担金(使用料、手数料等)	1		0		1	0	1
	一般財源	1,909,758		2,133,847		2,123,020	2,171,117	3,105,985
14	人件費（b）	237,800		211,200		125,400	125,400	56,800
15	年間経費（c）=（a）+（b）	10,064,518		7,664,783		4,849,556	4,276,888	3,519,344

事業費の内訳

（単位：千円）

16	事業費内訳	項 目	年度		事業費		うち一般財源	項 目	年度		事業費		うち一般財源
			R5	決算					R5	決算			
		予防接種委託料	R6	予算	1,182,855	1,182,855	予防接種健康被害救済経費	R6	予算	1,172,497	1,172,497		
			R5	決算	951,499	951,130		予防接種手帳等印刷製本費	R5	決算	4,272	4,272	
		ワクチン購入等消耗品費	R6	予算	1,060,621	1,060,420	予防接種手帳等印刷製本費		R6	予算	4,634	4,634	
			事務費等委託料	R5	決算	11,266		11,266	個別通知等郵送料	R5	決算	6,658	6,658
		R6		予算	15,960	15,960	個別通知等郵送料	R6		予算	7,868	7,868	
		会計年度任用職員雇用経費	R5	決算	2,324	2,324		新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費	R5	決算	1,979,454	0	
			R6	予算	2,581	2,581	新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費		R6	予算	1,185,865	831,094	
		予防接種費用助成金	R5	決算	10,735	10,652		その他（保険料、委員報酬等）	R5	決算	2,246	1,916	
			R6	予算	8,596	8,445	その他（保険料、委員報酬等）		R6	予算	2,548	2,218	

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	①	乳幼児の定期予防接種者数	人	81,034	78,781
	②	上記①にかかる年間経費	千円	404,496	395,293
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	4,992	5,018
	備考（算出についての説明等）		①はヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、B型肝炎の接種者数、②はヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、B型肝炎のワクチン代合計		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	事業の大半を占める乳幼児期の予防接種について、令和5年度は令和4年度と比較して、少子化による接種対象者の減少に伴い、接種者数も減少した。一方でワクチン代の年間経費も低下したが、接種者数の減少率を下回ったことから、単位当たり経費が増加した。今後も競争入札等により可能な限りワクチン調達にかかる経費の縮減に努める一方で、接種できる医療機関等の選択肢の十分な確保や未接種者に対する接種勧奨、広報による周知活動等を継続することで、接種を推進する。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	予防接種により国民全体の免疫水準を維持し、多くの人を感染症から守るためには、予防接種の接種機会を安定的に確保するとともに、社会全体として一定の接種率を確保することが国民の命を守るために重要である。 活動指標に記載のとおり、麻しん（麻しん風しん混合）予防接種の接種率は令和5年度94%であり、令和4年度91%と比較して3%増加した。また乳幼児期の定期予防接種（ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、B型肝炎）の接種率の平均についても、令和4年度98.8%に対し令和5年度100.5%と1.7%増加した（※）。よって、項目7記載の事業目的達成に寄与したものと考える。
	※接種率（接種者数／接種対象者数）について：「接種対象者数」は標準的な接種月年齢期間で算出しているのに対し、「接種者数」はその月年齢とは異なる年齢の者も含め、実際に接種した者を延べ人数で計上しているため、接種率が100%を超過する場合がある。